


家庭教育支援者いわき地区研修

名 称	令和4年度 家庭教育支援者いわき地区研修
講座開催日	令和4年11月4日（金） 時間帯：13時00分～15時40分
会 場	いわき市文化センター 大ホール
参加人数	幼保・小・中教員12名、PTA関係12名、公民館・地域支援者等20名、地域家庭教育いわきブロック会議委員5名、家庭教育応援企業5名、事務局7名<いわき事務所3名・いわき市教委4名> <u>合計 61名</u>
実践活動テーマ	コロナ禍における家庭教育推進のあり方
テーマ設定の理由及び実践活動のねらい	今回は、日常の子どもとのやりとりの場面において、子どもの心に届く言葉はどのような言葉なのか、子どもが実感できるコミュニケーションのコツを学ばせたいと思い、テーマを設定した。
講座及び実践活動内容	
<p>1 研修概要</p> <p style="text-align: right;">進行（いわき教育事務所 北原貴泰）</p> <p>(1) 開会のことば（進行）</p> <p>(2) 研修【第1部】</p> <p>○講師 「おやこみゅ」 NPO 法人親子コミュニケーションラボ 代表理事 天野 ひかり 氏</p> <p>○演題 「親子のコミュニケーションのコツ～基礎編」</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>① 自分と向き合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てで1番大切な大人の役割とは何か？ <ul style="list-style-type: none"> →頭の中の思いをことばにして、考えを整理する →他者の考えを知ること、自分の思いを明確にする →共有した内容を発表することで、解決につなげる <p>② 理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感（私は私だから大丈夫！という丈夫な心） <ul style="list-style-type: none"> →長所も欠点もそのまま認められ愛されている実感 （新しいことに挑戦できる、壁を乗り越えられる、相手の立場になって考えられる） <p>③ 実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践する <ul style="list-style-type: none"> →毎日の言葉かけ（コミュニケーション） <ul style="list-style-type: none"> OKことば：子ども（相手）の視点で話すことば NGことば：自分の視点で話すことば 	

- コミュニケーションのルール
(認める、大人が見本を見せる、社会のルールを説明する)

- コミュニケーションのコツ
→ 「～しないで！」 指示×・・・Let' s で置き換える
→ 「～しないで！」 禁止×・・・いいよ！に置き換える

(3) 研修【第2部】

○講師 「おやこみゅ」

NPO 法人親子コミュニケーションラボ

代表理事 天野 ひかり 氏

○演題 「親子のコミュニケーションのコツ～実践編」



① 考えてみる

- 先生・保護者・みんなで子どもを育てる意味とは？
→昭和の子育て：早く正確に答えに辿り着くための教育
→未来の子育て：AI（人工知能）に負けない子どもを育てるために・・・

② ほめる・叱る→「認める言葉」に変えるコツ

- 性格・能力を決めつけない行動や行為・・・you→I
→叱って直すより、できたタイミングで認めるほうが、成長が早い
→人と比べない
→感情と事実を分けて話せるように4W1Hで話を整理していく

(4) 御礼のことば (いわき市教育委員会事務局 生涯学習課 課長 久保木 隆広)

(5) 閉会のことば (進行)